

の川からの取水に切り替えたことで断水を回避することが出来ました。

水道協会では、災害等が発生した際に会員相互間で応急給水や応急復旧等の相互応援を実施する仕組みがあり、今回の漏水事故においても自治体間で給水車の応援要請をすることになりましたが、幸いなことに実際に応急給水活動するところまでは至りませんでした。

また、昨年度の話になりますが、和歌山県で、水管橋が崩落したことにより、影響を受ける約6万世帯が断水となる事故が発生しています。この時は、被害の発生した地域を含む、水道協会の関西の地方支部内での応援活動だけでなく、近隣の地方支部からも応援隊を派遣して、実際に給水車による給水活動を行いました。中部地方支部からも給水車を派遣して応急給水活動を実施しています。

南海トラフ巨大地震のような大規模な災害が発生した際にも、自治体間で連携し、速やかに応急給水、応急復旧活動ができるように、日頃から訓練等の備えが必要であると感じています。

勉強会では、インフラ等がストップした場合の影響について意見交換をしました。

当然のことですが、災害時には必要な情報をどのように入手するのかが、非常に重要なことだと思います。大規模災害時には、7月の通信障害のように普段使用している通信網が使えないことも想定されますので、このネットワークの活動を通じて、発災時にメンバー間で連携を取り適切に情報共有する手法についても、意見交換などできれば良いと思っています。



<公益社団法人 日本水道協会 中部地方支部 URL>
<https://www.jwwa-chubu.jp/>

(2) 一般財団法人 日本気象協会

○第13回勉強会(7/15)の感想

●インフラ等がストップした場合の影響について

話し合っただのような想定や対策が必要だと感じたか

BCPは多くの組織で構築されていることが確認できたが、それは社内で閉じた内容が中心であり、事業継続を目的としたものであった。防災備品の備蓄も各社備えており、最低限の避難生活も可能であることが判り安心できた。

これを組織及び業界を越えた共助とするために、横の情報共有手段を構築していくことが必要と感じた。それは何も立派なシステムである必要は無く、例えばメーリングリストでの情報共有でも構わないと考える。逆に緊急時はアナログな仕組みの方が確実性がある場合もある。

また、電気、通信が止まった想定での事業活動維持のための対策として、一定期間の電源確保が必要。各社のBCPとして小規模でも発電、蓄電設備の保有は必須であると考え。通信設備は固定回線その他、無線回線、衛星回線等の代替手段が必要。

弊社としては、インフラがストップした場合にも、人命救助や避難誘導、避難所運営そして災害からの復旧のため、自治体・特定企業に対し、最新の気象情報を提供し続ける必要がある。

●中部防災推進ネットワークのメンバー間の共助でできることはあるか

●産業界の共助の課題を話し合っただ、上がった課題に対してどのような

共助が必要だと思ったか

●自団体が中部防災推進ネットワーク(または参画団体)に期待する共助

◇自団体(自社)として、他団体(他社)に求めたいこと(情報提供等)

- ・ 臨時情報などの配信先の共有
- ・ 電気や燃料を融通
- ◇ 自団体（自社）が、他団体（他社）にできること（情報提供等）
 - ・ 二次災害を防げるように、避難者、災害復旧活動、ボランティア活動の一助になるように、災害気象情報や熱中症情報の配信を継続
 - ・ 周辺住民に対し、一時非難場所としてスペースの提供や非常食の配布
 - ・ 災害の状況確認とデータ収集
- ◇ 中部防災推進ネットワークのつながりで備えられること
 - ・ ホテルなどの臨時宿泊施設の確保
 - ・ トラックなどの物資運搬手段の確保
 - ・ 携帯電話事業者を巻き込み、可搬型基地局の設置
 - ・ タクシー会社の協力による迅速な移動手段の提供



○ 一般財団法人 日本気象協会 URL

<https://www.jwa.or.jp/>

2. 本ネットワークの参画団体からのお知らせ (防災イベントの予定等)

(1) 国土交通省 中部地方整備局

(主催：南海トラフ地震対策中部圏戦略会議/あいち・
なごや強靱化共創センター)

○ イベント名

中部ライフガード TEC2022「リスクの見える化」防災
ワークショップ

○ 開催日時

10月4日(火) 10:00~17:00

10月5日(水) 10:00~16:00

○ 開催場所

ポートメッセなごや 第3展示館
(ライフガード TEC 展示会場内)

○概要

「南海トラフ地震」及び「南海トラフ地震臨時情報」について、来場された皆さまと一緒に学び、備えと行動を考えるため、「第10回 中部ライフガード TEC 2022」においてワークショップを行います。会場では南海トラフ地震対策に関する展示も行いますので、ご来場及びご参加ください。

○Web ページ URL

【第10回中部ライフガード TEC 2022】

<https://lifeguardtec.com/>

【中部地方整備局 HP (記者発表資料)】

https://www.cbr.mlit.go.jp/kisya_manage/app/press/file/20220926_f06b61f65ab6ff67268b3d9fdb033768/20220926_6331137850b43_upfile.pdf

(2) 国土交通省 庄内川河川事務所

○イベント名

第二回 水害版 BCP 策定セミナー

○開催日時

令和4年10月6日(木) 14:00~15:40 (開場 13:30)

○開催場所

名古屋商工会議所(3階)第一会議室

※ WEBでの参加も可能です。

○概要

近年、令和元年東日本台風や令和2年7月豪雨など、水災害によって多くの企業が事業停止に追い込まれています。

名古屋市でも、庄内川をはじめとする多くの河川を有しており、2000年の東海豪雨のような甚大な水害がいつ発生してもおかしくない状況です。

近年、不測の事態への備えとして、事前に防災対応や被災時の行動を決めておく、BCP(事業継続計画)が注目されていますが、業務多忙な中、作成まではなかなか手が回らないのが実情ではないでしょうか。

そこで、今回のセミナーでは BCP の必要性から策定方法に至るまで、全 3 回にわたって学んでいただき、最終的に簡易的な水害版 BCP を策定することを目的に開催いたします。

どなたでも無料でお申込みできますので、この機会にぜひ参加をご検討ください。

○Web ページ URL

<https://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/cms/press/pdf/20220914.pdf>

※第一回セミナー動画はこちらからご覧になれます。

<https://www.youtube.com/watch?v=LuNsGAvxboQ>

(3) 名古屋商工会議所

○イベント名

事業継続力強化計画策定支援セミナー

○開催日時

10/7 (金) 15:00~16:45

○開催場所

名古屋商工会議所 3階 第1会議室

○概要

BCP (事業継続計画) の第一歩として、国が推奨する「事業継続力強化計画」の策定支援セミナーを開催します。

認定を受けた中小企業は、税制措置などの支援策を受けることができますこの機会に、是非、ご参加ください。

○Web ページ URL

<https://www.nagoya-cci.or.jp/event/event-detail.html?eid=4018>

(4) 中日新聞

○イベント名

備える！中日サバイバルキャンプ

○開催日時・場所

《プレ》2022年10月8日(土)

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院
《キャンプ》2022年10月15日(土)～16日(日)

※1泊2日

安城産業文化公園デンパーク

○概要

『備える!中日サバイバルキャンプ』は、みんなでいっしょに学べる、避難生活体験プログラム。

防災時の知識はもちろん、どんな状況でもたくましく生き抜く知恵や力を、

楽しみながら身につけることができます。

もしもの時の「備え」を、自分たちの頭と体にしっかりと刻み込む1泊2日。

○Web ページ URL

[『備える!中日サバイバルキャンプ』 \(chunichi-survival.com\)](http://chunichi-survival.com)

(5) 岐阜県

○イベント名

第88回 げんさい楽座

○開催日時

令和4年10月10日(月) 14:00～15:30

※通常と開催時間が異なりますのでご注意ください。

○開催場所

下呂市小坂町 きこりセンター

※オンラインによる配信を視聴される場合は、清流の国ぎふ防災・減災センターフェイスブックにアクセスして視聴してください。

後日 YouTube の公式チャンネルでも配信予定です。

○概要

「下呂市内の土砂災害・水害」をテーマに平成30年7月豪雨、令和2年7月豪雨を経験された地元の方にお話しいただき、自らの命は自らが守るために必要な備えを学んでいきます。

○Web ページ URL

Facebook ページ

[＜https://www.facebook.com/gifu.bousai.gensai＞](https://www.facebook.com/gifu.bousai.gensai)

YouTube 公式チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCUJpUvIuoHL6MP19nb9t0XA>

(6) 防災推進国民大会 2022 実行委員会
(内閣府、防災推進協議会、防災推進国民会議)

○イベント名

ぼうさいこくたい 2022

○開催日時

10月22日(土) 10:00~18:00

10月23日(日) 10:00~15:30

○開催場所

兵庫県神戸市の HAT 神戸を中心とするエリア

※オンライン併用のハイブリッド形式

○概要

防災に関する活動を実践する多様な団体・機関が一同に会し、取組・知見を発信・共有する日本最大級の防災イベントで、講義型セッションや来場者が楽しく学べる体験型ワークショップ、ブースでのプレゼンテーション、屋外展示等を実施し、令和4(2022)年度は第7回の開催となります。

○Web ページ URL

[トップページ - ぼうさいこくたい 2022 \(bosai-kokutai.jp\)](http://www.bosai-kokutai.jp)

3. 編集後記 (事務局・協力団体のひとこと)

日本損害保険協会の■■■■と申します。

4月から本ネットワークの事務局の一員として参加しております。

この場をお借りして、弊会の防災取組みの紹介を兼ねたお話をさせていただきます。

私は2歳になる娘がいますが、数年後、娘が小学生にな

ったら「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」に参加したいと思っています。

この「ぼうさい探検隊」というのは、弊会で実施している事業の1つで、防災・防犯・交通安全をテーマにして、小学生がまち歩きしながら、気づいたことをマップにまとめて発表する教育プログラムです。

特にお子さんがいらっしゃる方は共感いただけるかなと思います。親は常に子どものことが心配で、過保護な私はずっと後ろについて見守っていたと思っています。が、そういうわけにはいきません。

やはり、子どもが自分で危険を認識し、その危険から身を守る・備える力を身につけることが大切だと思います。

そういう力を身に着けるための第一歩として、(自画自賛になりますが)「ぼうさい探検隊」はよい取り組みだと思います。

通学路については、交通安全などの観点から親子で確認している方も多いと思いますが、防災の観点ではなかなか見回る機会もないと思います。

ハザードマップを確認するのはもちろんですが、地図上ではわからない、毎日子どもたちが過ごす地域の危険についても、目を向けてみてはいかがでしょうか。

なお、弊会では、ぼうさい探検隊で得た地域の気づきを元に、行政等への要望・提言も実施しており、少しでも地域・子どもたちの安全確保に寄与できたらという思いで取り組んでおります。

ぼうさい探検隊の詳細は以下リンクに掲載しております。ご興味のある方はぜひご覧ください。

[ぼうさい探検隊：防災教育 | 日本損害保険協会 - SONPO](#)

